



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 三櫻工業株式会社
 代表者名 取締役社長 篠原 利幸
 (コード番号 6584)
 問合せ先責任者 財務経理部長 長谷川 貴之
 (TEL 03-5793-8417)

平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想値と実績値との差異及び特別損失の計上
 並びに個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 11 月 10 日に公表した平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想数値と実績において差異が生じたのでお知らせいたします。なお、当該決算において新たに特別損失を計上しております。また、個別業績における前年実績値との差異についても合わせてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値の差異について

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値の差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 132,000	百万円 5,100	百万円 3,400	百万円 900	円 銭 24.73
今回実績値 (B)	133,794	6,004	5,389	1,074	29.50
増減額 (B - A)	+1,794	+904	+1,989	+174	+4.77
増減率 (%)	+1.4	+17.7	+58.5	+19.3	—
(参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	133,968	6,441	4,389	△724	△19.90

(注) 在外連結子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、平成 29 年 3 月期第 1 四半期より期中平均相場により換算する方法に変更しております。当会計方針の変更は遡及適用され、前期実績については遡及適用後の数値となっております。

(2) 差異発生の主な理由

① 経常利益

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、円高の進行により当社及び当社グループが保有する外貨建債権及び債務から 1,512 百万円の為替差損が発生しておりましたが、第 4 四半期において円安に戻ったことにより、為替差損は累計で 434 百万円となりました。当該影響及び営業利益の増益影響により経常利益は前回予想値を上回りました。

② 親会社株主に帰属する当期純利益

特別損失の計上

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間までに当社国内事業所等の固定資産に関して 489 百万円を減損損失として計上しておりましたが、第 4 四半期において当社国内事業所・ブラジル子会社及び中国子会社において減損損失を計上したことから減損損失は累計で 1,121 百万円となりました。

また、当社および当社子会社が過去に製造した自動車用部品に関して、得意先が市場回収措置を実施することに伴う損失負担見込額 635 百万円を製品保証引当金繰入額として特別損失に計上しました。（平成 29 年 4 月 6 日に公表いたしま

した「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。)

これらの影響があったものの、経常利益の増益影響が大きかったことから親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想値を上回りました。

2. 通期個別業績と前期実績値との差異について

(1) 平成29年3月期通期個別業績と前期実績値の差異(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (平成28年3月期)	百万円 51,345	百万円 625	百万円 227	百万円 △3,687	円 銭 △101.29
当期実績(B) (平成29年3月期)	52,274	1,141	1,523	△189	△5.20
増減額(B-A)	+928	+516	+1,297	+3,497	+96.09
増減率(%)	+1.8	+82.5	+572.5	-	-

(2) 差異発生主な理由

営業利益は売上高の増加及び子会社向け貸倒引当金繰入額の減少により増益となりました。経常利益は為替差損の減少により増益となりました。また、当期純利益は減損損失の減少、関係会社出資金評価損及び関係会社株式評価損の減少により損失額が減少しました。

以上